



# 福山西ロータリークラブ 例会情報



( 2020~2021年度 )  
[ 第 1444 回例会 ]-(28)

会 長 佐藤 教夫 幹 事 瀬尾 義裕

クラブ会長テーマ

「ひろげよう、ロータリーの輪を」

日 時 2021年5月11日(火)  
12:30~13:30  
場 所 福山ニューキャッスルホテル  
例 会 行 事 点 鐘・ソング「君が代・奉仕の理想」  
ゲスト・ビジターの紹介(出席報告参照)  
食 事

例 会 情 報 [会 長 報 告](#)  
[幹 事 報 告](#)  
[出 席 報 告](#)  
[S A A 報 告](#)  
[ス マ イ ル 報 告](#)  
[プ ロ グ ラ ム 情 報](#)

・地区研修・協議会報告

そ の 他 報 告  
そ の 他 情 報 [メークアップ情報\(来週分\)](#)  
[メークアップ情報\(再来週分\)](#)  
[今 後 の 行 事 予 定](#)  
[ク ラ ブ 活 動 報 告](#)

\*Ctrlキーを押しながらクリックするとそのページが表示されます。

## 【 会 長 挨拶 】

本日のプログラムは4月25日にリモートで実施されました「地区研修会」報告となっております。私事でまことに申し訳ありませんが、今日は欠席とさせて頂きました。

先月中頃から、のどに違和感がありまして、なかなか改善しませんでしたので、先週、かかり付け医院で診察してもらいました。もう少し詳しく調べた方がよいとの事で、医療センターへ申し込みしていましたところ、昨日、やっと予約が取れました。

火曜日の13時だったのです。これを逃すと、今度はいつになるかわかりませんので、大変申し訳ありませんが、診察してもらう事にしました。

熱も有りませんし、調子も悪くありませんが、一昨年、肺炎にかかった事もあり、また昨今の状況を考えますとつい慎重になってしまいます。

本日は、例会後に理事会がありますが、今後の例会の開催について議案に上がっています。瀬尾幹事とも話をしたのですが、会員の皆様の意見をできるだけ多く聞いて、理事会に反映させる様にしたいと思います。ご意見を瀬尾幹事までお願いします。

個人的には、コロナ感染がこれだけ広島県や福山市に蔓延してまいりましたので、またしばらくの間は休会とした方がよいように感じています。

19時からは新旧合同クラブ協議会が予定されています。これも大事な協議会で大変心苦しいのですが、こちらも欠席させて頂きたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

[表紙へ](#)

# 【プログラム情報】

## 【地区研修・協議会報告】

### 【会長・・・能登 伸一】

○シュカールメータRI会長の目標

- ・130万人へ増強=EACH ONE BRING ONE
- ・「ロータリー奉仕デー」開催を
- ・女性の活躍

○杉川ガバナー：ガバナー信条

- ・「みんなのためになるかどうか。未来のためになるかどうか」  
～多様性を受け入れ、相互理解を深めよう～
- ・ダイバーシティの理解=障がい者
- ・ロータリー奉仕デー開催支援
- ・クラブのDX推進支援
- ・ロータリー賞へのチャレンジ
- ・ロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力強化
- ・ロータリー財団、米山記念奨学会支援

### 【幹事・・・河村 直孝】

今回の地区研修・協議会は4月25日オンラインでの開催でした。

来期、幹事という立場上ガバナーエレクトの会長テーマと地区運営方針を中心に内容を聞かさせてもらいました。

重点運営方針の中でのポイントは

会員基盤の強化：わがクラブでは、会員増強（純増1名）と退会防止。

クラブのDX推進：わがクラブでは、zoomの活用。特に全員へのzoom活用経験を浸透する。

ロータリー奉仕デー推進支援：わがクラブでは、福山北支援学校との連携を持つこと。

ダイバーシティの卓話の実施：わがクラブでは、障がい者支援や外国人や女性活躍の卓話実施。

クラブ管理運営委員会のアンケート内容結果での気づき。

親睦のための例会内容

- 1位 家族例会 63
- 2位 新会員歓迎会 44
- 3位 お花見例会 43
- 3位 近隣クラブとの合同例会 43
- 5位 クリスマス例会 42

同好会の数は平均2.93個

活動の活発な同好会

- 1位 ゴルフ 67
- 2位 野球 24

### 3位 つり 12

わがクラブは、英会話や自転車など同好会数も多く活発である。

DXの利用では、オンライン会議経験があるのは約半数、問題点はデジタルに弱いメンバーの救済という点では、わがクラブでの課題であると感じました。

まだまだ、コロナ禍で例会開催も不安定な状態が続くかもしれません。

早めに zoom の活用を検討していきます。

#### 【クラブ管理運営・・・平田 恭彬】

##### 基本方針

1. ロータリークラブ定款・細則の改定の支援
2. 会員基盤拡大と多様性の推進
3. 例会における親睦と自己研鑽の強化
4. DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

クラブ管理運営委員の役割は、クラブの効果的な運営のために活動することです。当日は、クラブの効果的な運営について、アンケート結果を基に説明をいただきました。

##### アンケート

※親睦のための例会を特別に開いていますか？ 多い順番に

家族例会 63、新会員歓迎会 44、近隣クラブとの合同例会 43、お花見 43、列双 42、

※同好会の数 平均 2.93 個

1 個 22、2 個 13、3 個 9、4 個 9、6-9 個 7、5 個 6、0 個 4、10 個以上 2 クラブ

※特に活動が活発な同好会を 5 つまで

ゴルフ 67、野球 24、釣り 12、お酒 9、山登り 6、カラオケ 5、美食 5、麻雀 5、音楽 4、旅行 4、テニス 2、自転車 1、英会話 1、等々

※ダイバシティを意識した卓話の実施

ある、27 クラブ 37% ない、45 クラブ 63%

※ダイバシティを意識した卓話を取り上げたいとおもいますか？

思う、61 クラブ 85% 思わない、11 クラブ 15%

※現代的課題を意識した卓話の実施

ある、20 クラブ 28% ない、52 クラブ 72%

※現代的課題を意識した卓話を取り上げたいと思いますか？

思う、59 クラブ 82% 思わない、13 クラブ 18%

※DX について利用していますか？

はい、34 クラブ 47% いいえ、38 クラブ 53%

※DX についての問題点 複数回答

デジタルに弱いメンバーの救済 57、 管理ができない 17、  
費用・コスト 14、 導入方法がわからない 12、

## 【公共イメージ部門・・・古井 正則】

去る2021年04月25日(日)、国際ロータリー第2710地区 2021-22年度地区研修・協議会が開催されました。今回は長引く新型コロナ禍等の影響により、Zoomによるウェブセミナーとなりましたが、当日弊社事務所にて全編「視聴」させていただきましたので、担当部門についてのご報告をさせていただきます。

### I. 基本方針

- ① 地区 ならびに クラブの活動 を一般の人々に効果的に広報する。
- ② 各クラブのDX 推進の支援
- ③ 地区とクラブ、並びにクラブ間のネットワークづくりの推進
- ④ 「ロータリーの友」(誌)の精読推進と「友」(誌)への投稿推進

### II. 基本方針の各項目に係る補足事項

- ① 「広報」について
  - ： 「FBで存在感を高める5つのステップ」の紹介(イベントの事前事後の対応等)
  - ： プレスリリース(サンプル)の紹介
  - ： 中国新聞掲載例等の紹介(福山西RC関連の内容はなし)
  - ： クラブのHPの有無・形式・発信内容等についてのアンケート紹介
- ② 「DX支援」について
  - ： Zoomの導入案内、オンライン例会への対応
- ③ 「ロータリーの友」(誌)への投稿のお願い
  - ： 「ロータリーの友」(誌)への掲載例の紹介
  - ： 投稿頻度等についてのアンケート紹介

今回の地区協はZoomでの開催ということでしたので、部門別にWeb会議が開催され内容について議論されるものと思っていました。しかし、実際には研修リーダー他の挨拶にはじまり各委員会の研修内容が延々と続く、実質2時間程度の事前収録画像を眺めているだけの内容で、しかも2時間のうち公共イメージ委員会に関する内容は10分もありませんでした。しかも、開始時間のみ告知され、タイムテーブルも終了時間も不明なままでのスタートだったので、地区協終了まで関係のない他の委員会の内容をずっと見続けなければならず、非常に不愉快な日曜の午後となりました。上記基本方針にある「DX推進」とは、一体どういった意味なのでしょう。

## 【会員増強部門・・・黒木 成光】

Zoom会議での感想は、シェカール会長の世界で会員を10万人を増やす、といった具体的な数字をかかげられました。その事をベースに各委員長のアドバイスを聞かせていただき、私の会員増強活動に向けて、役立てればと思い聞いておりました。

まず、女性入会希望者を増やすことを重点に起き、アプローチをする事でした。中々難しい課題ですが、私もそれには賛同していましたので、実行して行きたいと思っております。

退会原因となる休会者に色々フォロー全員で行い、懇親会や同好会を通じて退会防止お手伝いが出来ればと思いました。

クラブフォーラム開催を行い、意見交換を行うことや新入会員のサポートを行うことのアドバイスに考え方が一致いたしました。

最後に、コロナで休会が増え、意見交換や親睦会の機会が減り、ロータリーに所属していることについての意義が薄れている。全国の執行部に選ばれる方の名誉や栄誉ばかりを気にされる方が少なからず存在している現状では退会理由が経済理由だからしょうがないという理由だけで片付けては発展はないとの心の声も出ました。

そういった事を踏まえ、会員増強委員長の仕事をしてまいりたいと思います。

### 【奉仕プロジェクト外部部門①職業奉仕・・・勝岡 正剛】

#### 1. 奉仕プロジェクト部門のアンケートの結果報告

①地区内の多くのクラブがコロナの影響で事業の中止や延期、見直し等を余儀なくされていることが伺えた。因みに職業奉仕の事業は全体の68件、61%が中止された。

②奉仕プロジェクトの実践事例として一例を紹介があり。広島安芸RCと広島東RCとの共同での市内小学6年生を対象にした[広島藩の歴史]についての出前授業の紹介。

2. 杉川ガバナーエレクトの地区運営方針と活動に対する説明の中で、特に印象に残った点は下記の通り。信条で掲げられた「多様性、diversity を受け入れた行動を目指す。多様性への理解を事業の柱として、SDGs(sustainable development goals の略、持続可能な開発目標)を意識して職業奉仕や社会奉仕を目指そう。能登会長エレクトも当委員会への要望事項の中にSDGsを学ぶことを挙げられているので、当委員会としても何らかの形で取り組みたい。

3. 杉川ガバナーエレクト、地区職業奉仕委員長が示された当委員会に対する要望事項は下記の通り。

- ①ロータリアンの原点である職業奉仕の理念の再確認、職業倫理の啓発
- ②職場例会や卓話の実施
- ③ロータリアンの行動規範の啓発

こうした要望を踏まえて、当委員会の活動計画を作っていきたい。

### 【奉仕プロジェクト外部部門①社会奉仕・・・岡崎 隆】

杉川ガバナーの言われてた「ロータリー奉仕デー」の開催 本件に着きましては、青少年奉仕委員会との連携をさせて頂き、北支援学校でのRC企業参観に参加する事に依る今後の支援活動の内容とプログラムの活動を実施して行きたいと考えて参ります。

- ①「がん予防推進委員会」との連携推進に付きましては、今年度は、スルーさせて頂きます。
- ②と③に付きましては同様次年度以降での取り組みとさせて頂きます。

当クラブの実践課題等を鑑みて多少の差異は有りますが、ロータリー精神に従って活動を実施したいと思います。当初からの活動予定につきましては、下記の様に実施して参ります。

チャリティー募金の件は、親睦活動委員会主催の忘年会に、同時開催を予定。資源回収につきましては、コロナ禍の状況に依り時期を観て実施したいと思います。

「奉仕の森」の取り組みと運用に付いては、「グリーンラインを愛する会」の丸山会長様の意見を聴きながら、看板設置も含めてどの様な対応をすべきかを判断して参ります。

## 【奉仕プロジェクト外部部門②国際奉仕・・・竹中 雅彦】

国際奉仕委員会の基本方針として以下の事項が示された。

1. 韓国第 3690 地区との交流推進（予定）
2. 国際大会（米国・ヒューストン）への参加推進
3. グローバル補助金申請クラブに対し、申請手続き等で財団委員会との連携

定款によれば第四部門である国際奉仕は他国の人々を助ける事を目的として国際理解、親睦、平和を推進するために会員が行う活動からなる。

コロナ禍で外国への支援活動ができない中、どのように国際奉仕活動を成し遂げるべきか模索している時に上記の項目を推進するように方針が示された。これらはコロナ禍で海外への渡航、入国禁止等の処置がとられている現状では無理な要望である。地区として今年度は国際奉仕活動を事実上放棄しているようにしか見えない。非常に残念であった。

次年度はクラブ独自の国際奉仕事業を計画します。どうぞ会員の皆様ご支援ください。

## 【奉仕プロジェクト外部部門②青少年奉仕・・・北 治郎】

カウンセラー	晝田 眞三（福 山）		
青少年奉仕	三宅陽一郎（広島西南）	インターアクト	上杉 昌幸（広島廿日市）
	中野 譲（徳 山）		松村 佳成（徳 山）
	西村 健治（防 府）		田中 康一（防府南）
ローターアクト	水谷 耕平（広島西南）	青少年交換	田中 健志（広島西）
	静間 隆浩（徳 山）		守政 和浩（徳 山）
	松永 雅紀（防府北）		河田 将人（福 山）
			岩城 淳（防 府）

### 基本方針

次の世代・若い人々への奉仕は長年にわたってロータリープログラムの重要な 1 部です。シェカール・メータ次年度 RI 会長テーマは「奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために」とされています。そして杉川ガバナーエレクト信条は「みんなのためになるかどうか。」

未来のためになるかどうか。」～多様性を受け入れ、相互理解を深めよう!!～と掲げられました。未来を担う若い職業人や学生等に様々な出会いと人生を楽しむ機会を提供する場として、ロータリーを活用していただきたい。それを受けて地区青少年奉仕委員会は求められている意義、目的そして現在の課題点を理解して実りある行動にしていきたいと思ひます。

青少年奉仕には年齢層別に 4 つのリーダー育成プログラムすなわち (RA) (IA) (YE) (RYLA) があり、それぞれの委員長のもと、この 4 つの RI 常設プログラムを交差させながら、地区内各クラブの企画、運営、実施されるプロジェクトの情報提供交換をしながら相互理解を図っていききたいと思ひます。

新型コロナウイルスの感染防止の為、奉仕活動の制限を受けることも考えられます。友情とネットワークを築くための手段として今まで以上にリモート等を活用すること、ロータリアンが青少年奉仕を通して若い世代を理解応援し、よりよい未来を彼らと一緒に創造していき、自らも成長しながら委員会活動を推進していきたい。それがロータリーの発展に繋がっていくものだと思います。

- ・ 「RYLA」 2022年5月21・22日 尾道ふれあいの里
- ・ RI理事会で2022年6月30日まで青少年交換プログラムを一時停止することを決定。

### 【米山記念奨学会部門・・・登里 孝司】

#### 基本方針

1. 米山記念奨学会事業についての理解促進
2. 米山記念奨学会への寄付推進  
寄付目標額：1人16,000円以上  
特別寄付への協力推進
3. 奨学会の受け入れ支援
4. 世話クラブ・カウンセラーへの支援
5. 奨学生、学友との交流（ホームカミング制度の活用、米山親善大使の活用）
6. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による奨学生に及ぶ影響を最小限にする対策（SNS,ZOOMなどの活用）

以上6項目中、特に2項目の1人16,000円以上の寄付目標額の達成のために努力して頂きたい。

その為に、クラブ内において、米山記念奨学会事業のプログラム実施をお願いしたいとの事でした。

[表紙へ](#)